

プロジェクト研究報告書
1
〈総説編〉

特殊教育諸学校の地域における
センター的機能に関する開発的研究

(平成13年度～平成15年度)

平成16年3月

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

総説編 目次

はじめに

1. 研究プロジェクトの概要	1
2. 盲・聾・養護学校の地域における「センター的機能」に関する調査 ーその実態と課題ー	7
3. 海外における盲・聾・養護学校の「センター的機能」への取組	
(1) 本調査の概要	53
(2) イギリスおよびドイツにおける盲学校のセンター的機能	54
(3) イギリスにおける聾学校のセンター的機能	70
(4) イギリスのワーウィックシャー州におけるサポートサービス	75
(5) ノルウェイにおける特殊教育支援システム	82
(6) ニュージーランドの特殊教育と支援システム	90
4. 盲・聾・養護学校の「センター的機能」と教員養成	
(1) 特殊教育諸学校のセンター機能を担う教員の養成	102
(2) 特殊教育諸学校の地域におけるセンター的な機能を 理解した教員を大学でどう養成するか 「福井大学教育地域科学部学校教育課程のひとつの試み」	108
(3) 盲・聾・養護学校のセンター的役割と教員養成大学における対応と課題 ー盲学校教育の分野からー	116
5. 支援の在り方を考える	
(1) 支援論 ーニーズに対応する資源の組み合わせー	123
(2) 地域から見た「センター的機能」に関する課題	138
(3) 地域療育センターから養護学校のセンター化を考える	142
(4) 大学附属肢体不自由養護学校からの地域支援の試み	146
(5) 普通科高校に知的障害のある生徒を迎えて	153
6. 盲・聾・養護学校のセンター的機能の開発・実施と課題	157

はじめに

もともと「学校」は地域において子どもたちに対し教育を行うセンターとしてつくられてきました。そして、盲・聾・養護学校の場合は、より広域を想定し障害のある子どもたちを対象に教育を行うセンターとして整備されてきました。

では、今期待されている「盲・聾・養護学校の地域におけるセンター的機能」とはなんのでしょうか。

中央教育審議会は「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（第一次答申）」のなかで、学校・家庭・地域社会の連携の重要性が指摘されており、そのための方策の一つとして、開かれた学校づくりをしていくことが必要であることを提言しました（平成8年7月）。これを受け、「特殊教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」は「学校は、地域社会の拠点として様々な活動に取り組む必要があるが、盲・聾・養護学校の場合、それぞれの専門性を生かして、地域の教育相談センターとして、それぞれの機能を十分発揮する必要があると考える。こうした教育相談は、盲・聾・養護学校の新たな教育サービス機能として位置づけることが適当であり、今後、盲・聾・養護学校がこのような教育サービスに積極的に人的・物的な条件整備についても検討していく必要がある。」（「特殊教育の改善・充実について（第一次報告）」と述べています（平成9年1月）。以降、国は教育課程審議会の審議を経て、盲・聾・養護学校の学習指導要領に「地域における特殊教育に関する相談のセンターとしての役割」を位置づけました。さらに、「21世紀の特殊教育の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告、「障害者基本計画」、「今後の特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告などのなかでもその方向性が明示されました。

この経緯から、平成8年以降、学校のなかに専門性として蓄積されてきた資源を、地域に開き活用していくという基本方針が打ち出され推進されてきたことがわかります。そして、これが「盲・聾・養護学校の地域におけるセンター的機能」の考え方ととらえることができます。

本プロジェクト研究では、全国に協力機関と協力者を得、3年間にわたって実際に盲・聾・養護学校が「地域においてセンター的機能を果たす」ということに取り組みました。そして、各学校がセンター的機能の開発・実施に取り組む過程で工夫したこと、遭遇した困難などを整理し、療育センターや保健センターなどどのようにネットワークを形成したらよいか、特殊教育センターや都道府県教育委員会はどのような役割を取る必要があるのかなどを含め、研究を進めました。あわせて、教員養成のなかでどのようにこの内容を取り扱えばよいのかを取り扱いました。

本研究の報告書は〈総説編〉、〈事例編〉、〈資料編〉の3分冊からなっています。ご活用頂くとともに各地の取り組みを私どもにお知らせ頂ければ大変幸いに存じます。最後になりましたが、協働としてこの研究に取り組んでいただきました協力者、協力機関の方々に心から感謝申し上げます。

研究代表者 滝 坂 信 一

プロジェクト研究
「特殊教育諸学校の地域におけるセンター的機能に関する開発的研究」

研究組織

〈研究代表者〉

滝 坂 信 一 国立特殊教育総合研究所 研究代表者

〈研究分担者〉

大 内 進 国立特殊教育総合研究所
大 柴 文 枝 国立特殊教育総合研究所
佐 藤 克 敏 国立特殊教育総合研究所
牟田口 辰 巳 国立特殊教育総合研究所
横 尾 俊 国立特殊教育総合研究所
涌 井 恵 国立特殊教育総合研究所
徳 永 亜紀雄 国立特殊教育総合研究所

〈研究協力者および研究協力機関代表〉

秋 田 晃 藤沢市立白浜養護学校（平成14, 15年度）
阿久澤 栄 神奈川県教育委員会
猪 平 眞 理 宮城教育大学教育学部
氏 家 靖 浩 福井大学教育地域科学部
上 田 康 彦 福井県立福井南養護学校
木 舩 憲 幸 福岡教育大学
工 藤 伸 一 神奈川県立平塚盲学校
高 屋 隆 男 福島県立大笹生養護学校
小八木 隆 福井県教育庁
清 水 聡 筑波大学附属桐が丘養護学校
瀬 戸 ひとみ 神奈川県立茅ヶ崎養護学校
瀧 澤 久美子 財団法人横浜市在宅障害者援護協会
富 岡 英 道 藤沢市立白浜養護学校（平成13年度）
中 田 正 敏 神奈川県立総合教育センター
福 西 隆 弘 篠山市立篠山養護学校（平成14, 15年度）
舟 川 和 宏 篠山市立丹南中学校（平成13年度）
古 川 勝 也 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
吉 田 弥恵子 福井県特殊教育センター
原 田 公 人 北海道小樽聾学校
渡 辺 幹 夫 横浜市中部地域療育センター
山 岡 勝 則 長野県立稲荷山養護学校
松 本 英 雄 熊本県立松橋養護学校（平成14, 15年度）
宮 崎 亜 紀 熊本県立松橋養護学校（平成13年度）
小 林 靖 幸 大阪府立阿武野高校（平成14, 15年度）
吉 田 巽 大阪府立高槻養護学校（平成14, 15年度）

〈オブザーバー〉

阪 内 宏 一 神戸大学

（各所属は平成16年3月現在）

〈研究協力機関〉

福井大学教育地域科学部附属養護学校

福井県立盲学校

福井県立ろう学校

福井県立嶺北養護学校

福井県立福井養護学校

福井県立嶺南東養護学校

福井県立嶺南西養護学校

福井県立福井南養護学校

福井県立清水養護学校

福島県立大笹生養護学校

神奈川県立茅ヶ崎養護学校

藤沢市立白浜養護学校

兵庫県篠山市立篠山養護学校

長野県立稲荷山養護学校

神奈川県立平塚盲学校

熊本県立松橋養護学校

大阪府立高槻養護学校

大阪府立阿武野高等学校

神奈川県立総合教育センター

福井県特殊教育センター